

何時ですか

What time is it? ファット タイム イズ イッツ?(英語)

कति बज्यो ?

カティ・バジヨ ? (ネパール語)

Anong oras na?

アノン・オラス・ナ ? (タガログ語)

集団生活研修
特集号

<目次>・PHDメッセージ
・西沢先生の体験記
・藤野さんの手記
・研修生のてがみ

PHD LETTER

No.4 発行1982年11月1日

編集発行 PHD財団・PHD協会
〒650 神戸市中央区元町通5-2-3
甲南サンシティ元町ビル
電話 神戸078-351-4892
郵便振替 神戸9-23625 PHD基金事務局
定価100円 印刷所 プリントボーイ山手

PHD運動とは

PHD運動とは昭和37年(1962)より約20年間、ネパール、東南アジアを中心とした発展途上国で医療活動に従事された岩村昇博士によって提唱された国際ボランティア運動であります。これまで自分のためだけ使っていた時間、技能、財などの10パーセントを献げて、平和づくり(Peace)健康づくり(Health)を担う人材をつくる(Human Development)運動を世界中にひろめることを目的として、昭和56年(1981)からはじめられました。

PHD 研修生を通じて学ぶ

岩村昇

いよいよPHD研修が本番になり、私も2泊3日
文でしたが農文塾での合宿に仲間入りさせてもらいました。

此の農文塾舎は、地元舟波の方達が、時間・労力・技能・材料
・浄財を献げられ、又舟波の外の方達も参加されて、つくり上げられたの
です!! 大変な到着した前夜もおせく道、地元の御解人の方達が、
床拭き道具も自分の手づいて準備して下さったのです!!

私の説明を聞いて居た研修生の一人は、目に涙を浮かべ、次の一人は合
掌し、も一人は「アリガトウゴザイマシタ」と日本語で、最後の一人は傍ら居られ
た地元の方の手をにぎって、何言も頭を下げました。

一人一人が、こんなに純粋に受けとめ、素直に表現されるとは!!

フィリピンのパニサレスさんは、息子さんと一人丈高専学校迄あげること
がどうにかできたが、「かんじし卒業認定試験を受けると受験料が百万」と
いう手紙が留守番の奥から来る。フィリピンのリトさんはお父さんが亡くなった
後リトさん達を育てて来たお母さんが病気で「治療費のため、お
前の商店道具の車のホンダ(オートバイ)を売ってアツを許しておくれ」という手
紙が来る。ネパールの2人のところへは「今年の子は、天候不順で出来がわ
るの」という知らせで胸を痛めて居る。

「生きるとは何を含意すること」を日常として居るPHD研修生と共に、私も量才様
も、今こそ含意含意の時が来たということ、私は学んで居ます!!

PHD 合同研修体験記

西沢忠秋

この9月一杯、私は「たんば農文塾」に於ける第1回合同研修に舎監として参加させて頂き、多くの事を
学び得た。

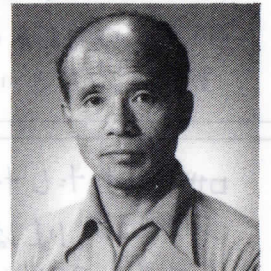
メンバーはネパールから2名、フィリピンから2名と藤野主事、私の6人である。

素晴らしい環境(といってもかなり寒かったが)の中、脱文明生活で得た体験は、何と我々は時間に追われ、
物質の洪水の中で大事なものを失っているかということ。

PHDソングではないが(近く発表される?)ここには静けさがあり、安らぎがあった。禅の悟りの如く無
一物中無尽蔵、何も無い処に全てが在ったのである。

彼らから自国の素朴で新鮮な歌を教わり、感動したのであるが、それにも増して感動したのは、彼等の素朴な人間性である。ナイーブ
な彼らの心は底抜けにはしゃぎ、笑い、泣いて私の心をゆさぶった。互いの中に一時的反発があっても、云いたい事をぶつけ合って
終わった後は、又兄弟の様に嬉々としてふざけ合う彼らの純真さに我々の失った姿を見た。

彼らと「さくら」や彼らの歌を顔見合せて歌う時、「これこそ天国の前打音だ」と目頭が熱くなった。気付いてみると何のことはない、
藤野君も私も研修生だったのだ。「なかよく、すこやかに、いきいき」とのPHD感謝の言葉と共に、次の言葉が思い起こされ、その意味を深く
再確認させられたのである。「慰められることよりも 慰めることを 理解されることよりも 理解することを 愛されること
よりも 愛することを 望ませて下さい」 (アシジの聖フランシスコ)



来日以来1月半の日本語の学習を終えた研修生は、9月3日から30日まで、たんば農文塾で、西沢忠秋先生、藤野達也秘書の指導のもとに、集団生活研修を体験し、10月から、それぞれの受入れ先に到着して個別研修にはげんでおります。どうぞ温かいお励ましをお願いいたします。

農文塾の研修生から日本語の手紙がPHD協会事務所に届きました。たった1月半の成果とは思えない日本語の上達ぶりを、紹介いたします。

とりあえず不便、でもね

世話役 藤野 達也

ワイワイ、ガヤガヤ楽しくやるうち、あっという間に1カ月が過ぎました。盛沢山の研修プログラムに加えて、湧水でカマドを使っての炊事、谷川での洗濯、煙にむせながらわかす五右エ門風呂、裏山でのタキギ拾い、肥汲み、夜、イロリを囲んでネパール・フィリピンの歌、おしゃべり等々。正直言って不便さは感じるものの、その過程に伴う人と人との何げないコミュニケーション。自然と人、人と人の触れ合いを感じ、考える意義深い一月でした。この成功もPHD運動を支えて下さる多くの方々のご協力の賜物と感謝します。次回の集団生活研修には、今回以上の日本側研修生の参加を期待します。



ほうきづくり

岩村先生の山頂教室



マソティア! 私たちは たんば"で" たいへん
たのしいです。ここは すこし さむい"です。やまは
たいへん きれいで"す。たんば"が" きれいで"す。私たちは
こゝを たいへん たくさん たべます。いろいろ た
べものを たべます。いしざわせんせいと ふじのさん
は しんせつ"です。みねけんしゅうせい は おんがく や
からて や じゅうどう"を べんきょう"します。
ときどき 私 は ふじのさんと スーパーマーケット"に
いきます。ここは あめが ふ"ついています。ですから
すこし さむい"です。 ありがとう"ございました。

ペ=サシ 9がつ30か=い=わ=し=る=けんしゅう、
せいはいとつ=あて=の=は"=き=て=ゆる=ま=え=に
ゆ=し=く=の=じ=や=ん=で"を しました。あ=さ=は=やく=み=お
"あ=ゆ"を した。あ=て=ゆ=し=た=ち=は=あ=と=は=ん=の
よ=う=を しました。お=じ=ま=さん=は=き=か=い=の=う=か=し
か=た=て=め=り=り=い=れ=る=は=い=へん=を=お=く=て=な=く
ない"です。 あ=て=に=か=い=ひ=が=あ=く=ない"ので
き=る=ち=の=か=か=め=き=せ=ん。これは わたし"の"う=が=い=に
お=い=て=い=ち=は=ん=の=も=ん=た=い=じ=を。
ありがとう"ございました。

バ"ラ"ン"ビ"ス"タ" ちた"は"は"は" たんば"で"
たいへん たのしい"です。ここ"は"は"は"より
か"れ"いです。い"は"あ"せんせい"は"おんがく"と
じ"ゅう"どう"と"から"て"を"べん"き"ょう"します。
こゝ"の"た"べ"もの"は"お"い"です。あ"た"し"の
お"た"い"は"い"た"け"い"です。
たん"ば"は"ス"ー"パ"ー"マ"ー"ケ"ッ"ト"に
い"き"ます。こゝ"は"あ"め"が"ふ"つ"て"い"ま"す。
い"は"あ"せんせい"と"ふ"じ"の"さん"は"たい"へん"に"な"り"ま"す。
あ"り"が"う"ご"ざ"い"ま"す。

日本人研修生をまじえ、スパゲティの屋ごはん

ロ"サ"ナ わたし"は"は"は" 9月3日 たんば"に"
つきました。い"は"は"う"た"を"さ"た"う"べん"き"ょう"を
して"ま"す。9月8日 お=じ=ま=さん=か=ら=き=か=い=の
う=か=し=か=た=を"ま"な"ひ"ま"した。ま"い"に"ち
あ"め"が"い"っ"て"い"ま"す。たい"へん"さ"む"い"です。
や"ま"は"きれ"い"です。わたし"は"は"は"たい"へん"
た"く"さん"に"い"は"ん"を"た"べ"ま"す。たい"へん"
お"い"しい"です。わたし"は"は"は"たい"へん"た"べ"の
い"です。あ"り"が"う"ご"ざ"い"ま"した。

